

⑤ 伊藤信夫 著

『隈取り:歌舞伎の化粧』

(岩崎美術社)

「隈取り」とは、歌舞伎の舞台化粧のこと。隈取りには赤い隈＝正義の味方、青＝悪役といったようにいくつかの様式がありますが、江戸の人々はその決まりごとのなかで存分に洒落っ気を発揮しました。例えば「朝顔仙平」と呼ばれる隈。これは江戸のお菓子屋さんで売られていた人気商品「朝顔煎餅」の宣伝も兼ねて役者の顔に施したもののなのです。髷は朝顔の葉、眉毛は蕾。いったいどんな顔になるのでしょうか。答えは図書館で。

774.69-Ito (N.T.)

⑦ 桂宥子, 牟田おりえ 編著

『はじめて学ぶ英米児童文学史』

(ミネルヴァ書房)

17世紀のイギリス。ペストなどによる子どもの死亡率は高く、わが子も早世するかもしれない。そんなわが子の魂だけでも救ってやりたい、どうしたら生まれながらの罪が清められ、魂が天国へ導かれるのかを教えておきたい。イギリス初の子どもの本はこうしたピューリタンの親心から生まれました。本書では、イギリス・アメリカのみならず、カナダ・オーストラリア・ニュージーランドの児童文学の流れもつかむことができます。

909-Kat (N.T.)



⑥ 藤村信 著

『新しいヨーロッパ古いアメリカ』

(岩波書店)

「新しいヨーロッパ」とは、長い歴史と伝統を持つヨーロッパの国々が、共産圏まで含めて加盟国25カ国にまで拡大された「ヨーロッパ連合」のことであり、その勢力は巨大化しつつあります。また「古いアメリカ」とは、かつての西欧の列強が、その勢力を海外にまで延ばしてアジアや南米を植民地化したように、「9.11事件」に始まった「イラク占領」は、その過程で独善主義を強めているかつての「新しかったアメリカ」のことです。今世界は、二極化されつつある中で日本の選択は？

本書は、ヨーロッパ滞在40年のキャリアを持つ著者が、エピソードを交えた巧みな叙述で、ニュースの内側の知られざる本質を述べています。

304-Fuj (H.T.)

⑧ 辻原康夫 著

『国旗の世界史』

(河出書房新社)

世界の国旗の数は、国際連合のものを含めると196もあります。

本書は各国の旗を歴史的背景を踏まえながら、色彩・形などに分類して書かれています。日本の旗はもちろん日の丸ですが、円形を用いた旗は世界で7カ国あります。パラオの旗は日の丸を手本にしている形は日本と同じですが、色彩が全く違います。円形部分は黄色で満月を表していて、青地は太平洋の海の色だそうです。

色鮮やかな国旗を見ながら世界一周してみませんか。

288.9-Tsu (N.K.)